

平成30年度第2回印西市市民参加推進委員会会議録

- 1 開催日時 平成30年11月5日（月） 午後1時30分～3時
- 2 開催場所 印西市役所会議棟2階 204会議室
- 3 出席者 山口茂委員（会長）、篠田吉範委員（副会長）、奥山時夫委員、片桐頭二委員、青山真佐江委員、五十嵐盛春委員、松岡はるか委員
- 4 欠席者 小林正博委員
- 5 事務局 板倉市長、古川部長、豊田課長、大野課長補佐、金井係長、杉山主査、鈴木主査
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事 (1) 会長及び副会長の互選について
(2) 市民参加推進委員会の運営について
- 8 議事録（要点）

【議題（1）会長及び副会長の互選について】

- ・会長が選任されるまで、事務局が仮の議長を務めることで了承され、古川部長が仮の議長を務めた。
- ・会長の互選を行い、山口茂委員が会長に選任された。
- ・副会長の互選を行い、篠田吉範委員が副会長に選任された。

事務局 【議事（2）市民参加推進委員会の運営について説明】

【以下、質疑応答】

委員 市民参加条例第13条に委員は15人以内で組織となっていますが、現在は8人となっています。何か理由はありますか。

事務局 委員の公募をしましたが、応募は1名だけでした。運営上、特に問題ないということで8人としています。

委員 市民参加条例が制定されてからの10年間で、何か具体的な成果があれば教えてください。

事務局 平成25年度に市民から3件の市民提案をいただきまして、その提案のなかで、市民参加の運用に関して、市民の意見を取り入れ、より市民が利用しやすくなるよう規則を改正しました。

委員 具体的に教えてください。

事務局 市民参加条例施行規則第14条の市民提案手続について改正しております。担当部署において提案者から趣旨を聞き取った上で対応を図り、結果を当該提案者に通知するように改正しています。

委員 これからの課題や現在検討していることはありますか。今のままだと事務的に2年間過ぎていくのではないかと思います。

事務局 市民参加条例は、市の施策を決める段階で市民の参加を得るという主旨で、手続きについて定めた条例です。条例第5条で市民参加の対象を定めていて、こういった施策に対して条例第6条で市民意向調査、市民説明会、パブリックコメント、審議会等の手続きを定め、10年間で職員に定着してきたと思います。例えば、パブリックコメントは、条例改正など市民に直接関わるものは必ず行っていて、たくさん実施していますが、市民にとって内容がわかりにくいと思うところもあります。パブリックコメントを行っても意見がないということもあります。市も手間をかけてパブリックコメントを行っていますので、意見をいただきやすいような手法を検討していく中で、みなさんの意見をいただければと思っています。今は、手続きを細かくみていくよりも、市民に行政に興味を持っていただいて、市民の率直なご意見をいただくことが重要と考えています。

委員 パブリックコメントに参加する人は非常に意識の高い人ですよ。印西市も人口10万人を超えましたし、私たちも意識的に何かしなければいけないと思います。

事務局 市民に高いハードルを求めると条例の趣旨が破綻してしまう恐れがあると思います。条例や規則で規定している手続きは行っているのに、何十個もの市民参加手続きが行われている状況です。手続きが多くても市民は、参加が難しくなるという状況になります。絞り込みをすとか、やり方をわかりやすくするため、どうすればいいのか、絞り込むにはどのようなものを重点的に行ったらいいのか等もご意見いただいて、市全体の運用に活かしていければと思っています。

委員 何か訴えていくということは、相当エネルギーがいります。印西市でもいろいろ行っていることはわかっていますが、委員として具体的にどうしていけばいいのかわからない状況です。

事務局 今回、新しい委員のみなさんに参加していただいて、どのように関わればいいのか疑問や不安があると思います。みなさんをお願いしたいことは、この委員会に関わらず全ての審議会等について共通ですが、条例第3条の基本理念、第2項「市民参加は、年齢、性別、居住地域等それぞれの置かれた立場を尊重し、市民等の持つ知識、経験及び創造的な視点を生かし推進されるものである。」と定められていますので、みなさんの生活環境の中で感じたことなどを意見としていただければと思います。この委員会での質問も事前に聞いていただいて構いませんので、ご意見を頂ければありがたいと思っています。市の市民参加の状況は、市ホームページのトップページに市民参加の欄がありまして、過去の会議録や資料、これから行う委員会の案内等が掲載されていますので、時間がある時に見ていただければと思います。ただ、審議会等は何十個もありますので、関心あるものを過去から追ってみていただければ、市民参加はこのように行っているということがわかると思いますので、その中で気付いた点を意見としていただければと思います。

委員 この審議会の委員になってどう関わるべきか迷う部分もあり、今の話を聞いて、なんとなくわかりました。市民の意見にはどのようなものがあるのかを聞き、この

委員会では議事録を作成して市民に公表し、どう施策に反映されているかは、流れがわからないと、ただ資料を見て終わってしまう懸念もありますので、いろいろなものを見た上で改善を進めていければと思います。

委員 資料5「平成30年度市民参加手続の実施予定」にあるようなパブリックコメントを行っていることに、これまで気付いたことがなかったのですが、市広報に掲載されていたのでしょうか。どのように周知したのか疑問があります。また、市ホームページで周知というお話がありましたが、市のホームページは時々見っていますが、イベント等は市の主催のものが掲載されているだけで、市民活動団体とか市以外の主催の情報があまり掲載されていないので、そもそも市ホームページを見て情報を得られるという意識が薄いのではないかと思います。例えばアンケートを行う場合は、市民向けイベントの際に行うとか、市民がもう少し興味がわくよう、わかりやすく行うと良いと思います。現在はどのような方法でパブリックコメントを周知していますか。

事務局 市広報、市ホームページに掲載してお知らせしています。広報記事が多いので記事にうもれてしまって気付かないこともあるかもしれません。意見を徴取するため、各施設に回収箱を置いてご案内しています。

委員 細かいことを質問しますが、昨年度まで企画政策課で所管されていて、担当課を確認をすると、資料で答えていただけなのですが、結果的に我々からしてみると、どのようにパブリックコメントを募集しているのか、どういうアンケートを行ったのか、何故行ったのかがわからないので、それについて教えていただきたい。例えば、資料4「平成29年度市民参加手続の実施状況」の3番「第3男女共同参画プランの策定」では、アンケートを行っていますが、公立の学校でも、未回答の学校があるという結果になっています。事業所に関しては約14%しか回答していません。これに対して、担当課は、「課題はあるが、達成できた、5年前のアンケート回収率を上回る結果となり、市民意識や状況を把握できた。」と評価していますが、これで本当に把握できたのか疑問に思います。私も何回か市ホームページでの周知の方法はおかしいのではないかと意見しまして、リニューアルされたこともありました。以前よりだいぶ良くなったと思いますが、現在がベストな状況かという点非常に微妙に思います。今の状況だと各課が求めているものがわかりずらく感じます。本当に興味のある人しか見ないと思います。市が市民に何を求めているのか、求めているものがあるのなら、もっと簡単な方法でクリックしてもらえそうな方法を考えていただければと思います。

事務局 各課の実施状況について、われわれも詳細すべてを把握するのは難しい状況です。会議資料を事前に配布しまして、その中で事前にお気づきになった点等、質問をい

ただければ、各課に確認をし、当日お話をさせていただくことが可能です。ホームページに関しましては、掲載しているだけでは効果が得られませんので、広報担当部署と調整しながら検討させていただければと思います。

委員 「市民の皆さんのご意見うかがいます」等、目をひくようなものにしていただければと思います。入口を変えるだけでも違うと思います。

事務局 見ていただく工夫を考えたいと思います。

委員 市民参加の業務が今年から市民部に所管が変わられたということへの感想です。市民参加は、庁内各課の計画や方針、そういうものに関わるものが多いですね。市役所はいろいろな仕事をしていますが、市民部はその中の一部署で、そうした部署がこの市民参加を担当するというに、私は違和感を感じました。また、市民参加で一番大事なことは、市民の提出した意見や意向を、市役所の中でどういうふうに取り扱われたか、誰からみても見えるような形であることだと思います。パブリックコメントでは行っていると思いますが、出された意見がどのように取り扱われたかということが公開されていくことが、一番大事なことだと思います。意見の件数は多くないかもしれませんが、出された意見の1つ1つが、市役所で大事に扱われたということが外から見えるようになっていけば、参加する人も増えていくのではないのでしょうか。

委員 一市民として持っている疑問が出てきている気がします。できるだけ咀嚼をして市民にわかりやすくなるようにしていければと思います。広報公聴というのはお互いに一方通行で、担当部署が回答して満足してしまうことが多くありますので、そうではなくて、その結果、市民がどう判断してくれるかを追ってけると有意義なものになると思います。

委員 次の会議の際に、具体的な議題をあげていただけると、考える時間ができると思います。

事務局 次回は、来年度を予定していますが、議題としては前年度の実施結果報告と当年度の実施予定を予定しています。次回以降も事前に、議題を掲載している次第と資料を配布させていただきます。一読していただいて、ご意見等あれば事前にメール、ファックス等で提出していただければと思います。

委員 部としての方針やこういうことをしたいという重点的なものを出していただき、われわれの意見を活用していただければありがたいと思います。具体的な成果が挙がるよう、力になりたいと思います。

議 長 他に何かございますか。ないようでしたら、以上で終了し、事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

事 務 局 以上をもちまして、本日の市民参加推進委員会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。お疲れ様でございました。

平成30年11月5日に行われた印西市市民参加推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

平成30年11月25日

会議録署名委員 篠田 吉範